

職 業 奉 仕 委 員 会

委 員 長 鏡 原 良 則

副委員長 鈴 木 雅 博

委 員 横 山 明 世

ロータリークラブの起源は、シカゴで弁護士として仕事をしていたポール・ハリスが、様々な分野の職業人を集め、ともに知恵を出し合い生涯にわたり友情を養い合える場所を作ったことから始まった。まさにその意味からして、職業を通じて社会に奉仕することそのものであり、職業を通じて様々な課題を解決し、それぞれの力を出し合い社会に奉仕するための草の根活動である。

したがって例会は、出席を通じて職業人が集まり、時間を共有し親睦を深め、互いに学びあう人づくりの場でもある。例会で様々な考えに出会い、人脈を培い、それぞれの職業を通じて人づくりを経験し、「例会—職業奉仕—例会」という状況を理解しあい、ロータリアンとして成長していく場としてとらえていきたい。

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念の実践としてロータリーが支援していくものである。

1. 職業上の高い倫理基準を持つこと
2. 役立つ仕事はすべて価値あるものと認識して行動すること
3. 社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものとして積極的に奉仕すること。